

【技術の名称】 あとから鉄筋工法 ー無機モルタルカプセルを用いた頭付き鉄筋挿入・ 定着工法ー (改定1)	性能証明番号：GBRC 性能証明 第19-22号 改1 性能証明発効日：2021年3月24日 【取得者】 戸田建設株式会社 西松建設株式会社
--	---

【技術の概要】

本技術は、鉄筋コンクリート構造あるいは鉄骨鉄筋コンクリート構造部材において、硬化したコンクリート表面へハンマードリル等で削孔を行い、その孔内に専用のモルタルカプセルを充填後、引張力を負担する鉄筋を定着させる工法である。なお、本技術は適用建築物に対して、建築基準法、その他関係法令に基づき適正に使用するものとする。

【改定の内容】

新 規：GBRC 性能証明 第19-22号 (2020年3月5日)
改定1：GBRC 性能証明 第19-22号 改1 (2021年3月24日)
・鉄筋径 D13 の追加

【技術開発の趣旨】

あと施工アンカーは主にせん断力の伝達を対象としており、原則として引張力の伝達には用いることができない。また、許容応力度および材料強度が規定されていないため、新築物件や既存改修工事(耐震補強工事を除く)の躯体に使用することができない。このため、既存改修工事などにおいて壁や床を新たに設ける場合には、既存躯体を研り、鉄筋を配筋後にコンクリートを打設するなど手間のかかる施工が一般的に行われている。これに対して本工法では、既存躯体を研ることなく既存躯体へ引張鉄筋を追加でき、削孔の径・深さ・清掃管理など各種の施工条件を満足することにより、既存改修工事、増設工事等での追加部材・追加補強を容易にし、効率化・迅速化を可能にする。

【性能証明の内容】

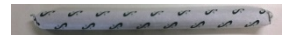
本技術についての性能証明の内容は、以下の通りである。
申込者が提案する「あとから鉄筋工法 設計・施工指針」に従って設計・施工された鉄筋あと定着部は、同指針で定める耐力を有してあと定着鉄筋降伏で最大耐力が決まり、既往の直線定着と同等の定着性能を有する。

○使用材料

母材コンクリート設計基準強度：21～36N/mm²
SNB カプセルの設計基準強度：60N/mm²
あと定着鉄筋鋼種：SD295A、SD345
呼び径：D13～25



あと定着鉄筋

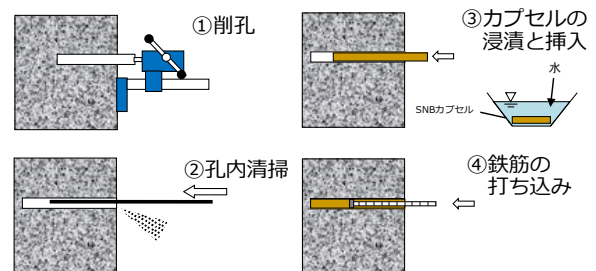


モルタルカプセル

○適用範囲

・適用部位
床版、雑壁、小梁、階段、土圧壁、パラペットなどの地震水平力を負担しない部材

○施工手順



【本技術の問合せ先】

戸田建設株式会社 担当者：西村 英一郎 E-mail: eiichirou.nishimura@toda.co.jp
〒104-0032 東京都中央区京橋 1-7-1 TEL:03-3535-1354
西松建設株式会社 担当者：山崎 康雄 E-mail: yasuo_yamasaki@nishimatsu.co.jp
〒105-6310 東京都港区虎ノ門 1-23-1 虎ノ門ヒルズ森タワー10階 TEL:03-3502-0232